

# エムズ・デーリィ・ラボ便り

## 「夏の敷料細菌検査の重要性」

重篤な症状を示し、時には死亡の原因にもなる大腸菌やクレブシエラの乳房炎は、夏に多く発症します。

夏の環境性乳房炎を予防するには、敷料管理を徹底して牛床をクリーンでドライにしておくことが重要です。

敷料とフリーバーンの表面の環境性乳房炎原因菌数

敷料	環境性 レンサ球菌	大腸菌	クレブシエラ	その他の 大腸菌群	その他の グラム陰性菌
使用前オガクズ1	0	0	0	0	0
使用前オガクズ2	$1 \times 10^5$	0	0	0	0
使用前オガクズ3	$1.6 \times 10^7$		$0.1 \times 10^4$	$1.9 \times 10^6$	0
戻し堆肥1	$1.2 \times 10^4$	0	0	0	0
戻し堆肥2	$1.85 \times 10^7$	$2 \times 10^5$	$1 \times 10^4$	$1 \times 10^4$	$3 \times 10^6$
フリーバーンの表面	$8.7 \times 10^7$	$5 \times 10^5$	$2.58 \times 10^7$	$1.8 \times 10^7$	$2.5 \times 10^7$

(単位: CFU/ml、エムズ・デーリィ・ラボ)

**細菌数が $10^4$ 以上は危険、 $10^6$ は最悪**

使用前にすでに細菌が増殖しているケースもあるので、敷料の細菌検査を実施して、敷料の汚染具合を把握することは重要です。石灰を混ぜると細菌数を減少させる効果があります。